

ビブリオバトルをしよう

2年 国語

「魅力的な提案をしよう」
資料の活用・読書指導

ねらい

- 話の中心的な部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すことができる。
- 表現手段の特徴を理解し、相手や目的、意図に応じて効果を考えながら工夫して表現することができる。

学 習 展 開

- ① 学習のねらいを確認し、ビブリオバトルの流れやルールなどを知る。
- ② 紹介したい本の情報を集め、整理する。
- ③ 聞き手を意識した発表の工夫（導入・資料等）について学ぶ。
- ④ 発表用資料を作成し、構成や展開などを工夫して発表する練習を行う。
- ⑤ グループに分かれてビブリオバトルを行う。
- ⑥ 振り返りを行う。



聞き手を想定し、発表の仕方に工夫を凝らす



紹介された本の内容について質問する生徒

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は、ビブリオバトルの流れやルールなどを説明する。
- 学校司書は、ビブリオバトルで紹介された本のリストを製作・配布するとともに、学校図書館内にコーナーを設けて紹介された本を展示する。
- 司書教諭と学校司書は、生徒がタブレット等の情報機器を使用する際にT2、T3として支援する。

★指導のポイント

- ◆ 事前に紹介したい本を選んでおくことと、本選びで悩んだり迷ったりしたときには学校司書と司書教諭も相談に乗ることを、生徒たちに伝えておく。
- ◆ 聞き手が発表内容に興味を持てるよう、発表の導入や資料の工夫を特に意識させる。

資料

『ビブリオバトルハンドブック』（子供の未来社）
『ビブリオバトルを楽しもう ゲームで広がる読書の輪』（さ・え・ら書房）